



道農連2022年11月の月間活動ピックアップ

2022(令和4)年11月30日発行(第117号)

秋闘：業態別対策中央行動を展開

道農連は11月14～15日に米・水田、15～16日に畑作・野菜、29～30日に酪農・畜産対策中央行動を展開し、道選出国會議員や農水省等へ要請した。

米・水田農業対策では、総勢17名で食料安全保障等の視点に立った米・水田農業政策の推進や、水活の十分な予算確保と安定的な制度運用などを求めた。

畑作・野菜対策では、総勢42名で畑作物における国境措置の確保のほか、持続可能な畑作農業政策の確立、野菜政策の拡充・強化などを求めた。

酪農・畜産対策では、総勢35名で国内酪農・畜産の持続的発展が可能となる基本政策の確立や、経営安定に向けた23年度畜産物価格等の決定などを求めた。

次世代を担う組織活動に関する研修会を開催

道農連は11月7日、京王プラザホテル札幌で「次世代を担う組織活動に関する研修会」を開催し、全道から若手の盟友を中心に約50名が参加した。

研修会では、フリーランス農家の小葉松真里氏が「フリーランス農家から見える農業の新たな関わり方と課題」と題し、土地と家を所有しないフリーランス農家という新しい働き方など説明し、全国の多くの農場を回る中で見えた農業の課題や人材が集まる農場の特徴等を語った。また、中原浩一道農連書記長が農民運動の歴史や経過、成果などを踏まえ、組織活動の重要性を説明した。

全道書記長・事務担当者研修会を開催

道農連は11月24日、札幌市内で全道書記長・事務担当者研修会を2部構成で開催し、全道から各市町村組織の書記長や事務担当者ら約140名が参加した。

第1部は、道農業青色申告会(会長：中原浩一道農連書記長)主催による2022年度税務研修会が行われ、道税理士会の森下浩常務理事と税理士法人アンビシャス・パートナーズの樋口秀税理士が「税申告に向けた最終確認と税務調査のイロハ」、札幌国税局課税個人課税課の田中希記帳指導専門官が「2022年分確定申告等について」をテーマに講演した。

第2部は、道農連、(一財)道農連会館主催の農政研修会を行い、農林中央金庫エグゼクティブ・アドバイザー(元農水省農林水産審議官)の大澤誠氏が「英国とフランスの食料安全保障政策が示唆するもの」をテーマに講演した。

11月の活動記録(上記以外)

- 4日 第3回酪農・畜産対策委員会
- 16日 立憲民主党税制改正要望ヒアリング
- 21日 水活見直しに係る総括WG
- 24日 岩見沢市農民協議会研修来局

12月の活動予定

- 1日 道「農」ネットワーク事務局会議
- 2日 持続的畑作生産体系確立緊急支援事業等に関する説明会、北見地区農連書記長・事務担当者、青年部合同研修会；北見市
- 6日 全道地区・市町村組織委員長会議
道農業青色申告会簿記帳講習会(～8日)
- 7日 第1回組織財政委員会
- 8日 道農産協会てん菜・てん菜糖に関する作業部会、農業ジャーナリストの会研修会
- 9日 合成洗剤追放北海道連絡会第4回運営委員会
- 10日 道「農」ネットワーク総会・研修会
- 20日 三役会議、第6回執行委員会
- 22日 道農業再生協議会第3回水田部会
- 26日 道農産協会企画調整部会

◎詳しくは、「北海道農村新聞」(年間購読料1,800円・税込)をご覧ください。

お申し込み・お問い合わせは、道農連事務局(TEL011-241-5416)まで。

道農連 HP はこちら ⇒ <http://donouren.sakura.ne.jp/>

